

#b#b 100人の予定表(11) #b#b 関西(H23-11/6現在)

関係各位のご依頼によりご案内。各行事へのご参加は必ず主催者へご確認下さい。
各種情報はお早めにヨロシク！ 毎月、末日までに翌月分をご案内したいと思っています。

NPO法人教育再生地方議員百人と市民の会 理事長 大阪市議員 辻淳子 発行責任者 事務局長 増木重夫
TEL 090-3710-4815 FAX 06-6835-0974 h100prs@oregano.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~h100prs/>

1 議員を動かす【秘】ノウハウ教えます！

増木重夫

今月は私が好き放題書かせていただきます。文責は全て私です。

先日K氏より、「自治基本条例の件でD市議員に頼みに行ったけど、全く無視された。あんな奴はアカン！」とカンカンになり電話が掛かってきました。私はカチンときて「何も分からん奴が好き勝手言うな。」と思いましたが、グッと飲み込んで、議員を動かす【秘】ノウハウ教えます！

議員にお世辞を言う気は毛頭ありませんが、本人が釈明もしにくいと思いますので代わり！

議員は国会、地方問わず山ほど仕事を抱えています。保守系の議員に、例えば「自治基本条例は良いか悪いか」と問えば、100%「アカン！」と言うでしょう。それなら、即「自治基本条例反対！」で動いてくれるかといえはこれは話が別。あくまで、山ほどある「お仕事予定リスト」

に項目が1つ加わるだけ。面倒なわけでもやる気が無いわけでもありません。時間や予算の制約の中、議員がどれを優先させるかと言う話になってきます。

我々にとっては「自治基本条例」は最優先課題ですが、他のグループは他の案件がもっと大事だという。その渦中にあるわけです。仮に議員の仕事の質において、「自治基本条例」反対が最重要としましょう。それを扱うとするとよほどしっかりした市民の後押しが必要です。市民の後押しなしでこのような大掛かりな政治行動ができるわけがありません。

「〇〇は重要だけど、果たして市民が何処まで付いてきてくれるかな。」

と少しでも不安が走ったら議員として取り組めるわけが無い。議員が「お仕事予定リスト」で優先順位をつける場合、「①内容の重要度。②『市民の支持、応援』と言う梯子の頑丈度。」の2点だと思います。いくら屋根が雨漏りしていても、梯子がグラグラでは怖くて屋根には上がれない。大怪我をしちゃいます。そして梯子が頑丈か否かを議員が判断するにはある程度の時間が必要。要は、議員との普段の付き合いではないでしょうか。「我々はしっかり梯子を持っています。」と議員にわかってもらうには時間をかけて付き合う以外に方法はないのです。急に思い立って議員に何かを言っても議員は動くわけが無いということです。

立場を逆に考えるとわかると思います。如何に重要なことであっても、あまり付き合いの無い人から物を頼まれてあなたは動けますか。市民の要請で議員が動くということは、言わば議員と市民がお互いに連帯保証人になるということです。だから議員が古い付き合いのある人、すなわち信頼できる人からの要請を大事にするのは当たり前だと思います。

「票を介在したギブ&テイク」という見方もひとつの考え方だと思います。しかしそれ以上に、梯子をしっかり持つということ。議員は『どの梯子が一番頑丈かな』と絶えず考えています。だって屋根に上りたいから議員になったのですから。

私のところにもいろいろな運動案が持ち込まれます。また、議員を紹介しろ！と言ってきます。それに応じるか否か。ハッキリ言って昨日今日の付き合いの人の話で動くことは絶対ありません。怖くてしょうがない。

ケネディのゲティスバーグ（確か？）の演説を今一度思いだしましょう。

「国家が我々に何をしてくれるかではなく、我々が国家に何ができるか。」同様に、「議員が何をしてくれるのか」と言う前に、「議員にどのような協力ができるか」を考えていただきたい。

言い方を変えましょう。日本は議会制民主主義。要はいかに議員を説得するか。

「議員は何もやってくれない。」それは説得が悪いのです。「自治基本条例」賛成派も必死で議員を説得します。要は議員への説得合戦。さらには議員同士の説得合戦になるわけです。そこを間違えたらいけないと思います。「自治基本条例」は悪法に決まっている。国を滅ぼす。イヤ、決まっていないんです。数では多いであろう左系はこんなにすばらしいものは無いと思っているのです。「正しい」の定義は何か。司法の場では証拠の有無。議会の場では多数。「絶対」はありません。独善的「決め付け」で叫んでもなんの意味もありません。そして最も効果のある説得方法は普段の付き合いなのです！

しばしば「議員なんてろくな奴はいない。私の言うことは何も聞いてくれないかない。」とグチる御仁がいます。しかしよくよく聞いてみたら、就職の斡旋とか仕事を回してくれないとか。議員の仕事は職安でもなければ談合屋の親分ではありません。公益の代表。大概の議員は薄給でよくそこまでできるな！と感謝の念を禁じ得ません。

確かに世の中、例外の不心得な議員もいます。それは世の中類は類を呼びますから、公の利益ではなく私の利益を議員にもっていくからそのような低レベルの議員にしか出会えないわけです。議員に私的なことを頼むことなどもっての外だと思います。不肖増木、若いときに一回だけこれをやりました。多分、反省は生涯続くでしょう。

議員の皆さん。今年の冬のお歳暮くれぐれもマスキンを忘れなく！